

(参考様式4)

事業所名 ラポールわかたけ

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 5 月 7 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	コロナ5類移行後、地域に向けた認知症予防啓発活動を地域包括支援センター職員と協働し行いつつあるが、事業所内コロナ感染症蔓延を受け、地域との交流ができていない現状がある。	当事業所が、地域の一員として日頃から交流を深めつつ共に地域防災に努め、又認知症ケアのノウハウや相談窓口として地域に還元できる。	①運営推進会議を活用し、消防や区長を含め地域関係者、併設事業所等と防災について話し合い協力体制強化を図る。 ②わかたけ班として町内避難訓練に利用者と共に参加する。 ③職員の防災教育・人材育成 (BCPの周知、研修、訓練 → 運用) ④地域包括支援センターと連携のもと協働し相談・認知症予防啓発活動を行う。 (地区いこいのつどいにてミュージック・ケアを展開。グループホームを知って戴く。) ⑤入居申し込みや見学に来られた家族の話を良く聴き相談支援に努める。 (家で介護している人の気持ちの傾聴)	12ヶ月
2	45	コロナ5類移行後、対面面会やドライブ、介護サービス相談員、外部サービス(個別支援)受け入れ等徐々に緩和を進めているが、家族行事や地域の催(祭)事に参加は出来ていない。	感染予防を講じた上で出来る支援を感染状況を見ながら、「外出緩和、地域交流」を進めていく。	・感染症に対するリスクへの理解・協力を図る。 ・事業所(初期対応を強化し感染症蔓延防止) ・感染症予防を講じた上での外出、地域交流 家族交流(短時間)自宅に帰る、お墓参り、冠婚葬祭。 地域交流会開催。 ボランティア、実習生等を受け入れ、地域資源を活用。。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。